

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 会計学 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記の基本原理の理解する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 商品売買Ⅰ 4 商品売買Ⅱ 5 決算整理 6 精算表 7 現金および預金 8 手形 9 有形固定資産の決算整理 10 その他の債権および債務 11 その他の勘定および訂正仕訳 12 有形固定資産の決算整理 13 費用および収益の決算整理 14 株式会社の純資産 15 英米式決算法 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 一般教養 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方① 11 漢字の意味・使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験② |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 総合演習Ⅲ（計算技能） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 電卓技能の向上を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 総合演習XIII（特別活動） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | グループワークの形式、役割、手法について学ぶ |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける |
| 教科書 | 配布プリント・資料 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 グループディスカッションとは① 2 グループディスカッションとは② 3 グループディスカッションの役割① 4 グループディスカッションの役割② 5 抽象テーマ型グループディスカッション① 6 抽象テーマ型グループディスカッション② 7 抽象テーマ型グループディスカッション③ 8 課題解決型グループディスカッション① 9 課題解決型グループディスカッション② 10 課題解決型グループディスカッション③ 11 KJ法① 12 KJ法② 13 資料読み取り型グループディスカッション① 14 資料読み取り型グループディスカッション② 15 資料読み取り型グループディスカッション③ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|----------------------------|----------------|
| 授業科目 | 総合演習Ⅸ（接遇論マナー実践） | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期・後期 | |
| 科目区分 | 必修 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | 15コマ | |
| 授業概要 | 面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 面接の入退室および自己PRができるようになる | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 面接の基本 |
| | 2 | 入退室の仕方 |
| | 3 | スーツの着こなし、身嗜み確認 |
| | 4 | 自己PR作成① |
| | 5 | 自己PR作成② |
| | 6 | 自己PR作成③ |
| | 7 | 面接質問項目① |
| | 8 | 面接質問項目② |
| | 9 | 面接質問項目③ |
| | 10 | 会計事務所・企業研究① |
| | 11 | 会計事務所・企業研究② |
| | 12 | 模擬面接練習① |
| | 13 | 模擬面接練習② |
| | 14 | 模擬面接練習③ |
| | 15 | 模擬面接試験 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---------------|
| 授業科目 | 簿記 帳簿組織論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | 15コマ | |
| 授業概要 | 基本的な取引を基に、仕訳や帳簿への記入方法を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 簿記一巡の手続きと財務諸表 |
| | 2 | 現金預金 |
| | 3 | 債権・債務 |
| | 4 | 棚卸資産 |
| | 5 | 有価証券① |
| | 6 | 有価証券② |
| | 7 | 固定資産① |
| | 8 | 固定資産② |
| | 9 | 固定資産③ |
| | 10 | 固定資産④ |
| | 11 | 債務保証 |
| | 12 | 引当金 |
| | 13 | 収益と費用 |
| | 14 | 為替換算会計 |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|----------|
| 授業科目 | 簿記 会社会計原論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | 15コマ | |
| 授業概要 | 基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 株式会社の純資産 |
| | 2 | 企業結合 |
| | 3 | 税金① |
| | 4 | 税金② |
| | 5 | 伝票と帳簿 |
| | 6 | 決算① |
| | 7 | 決算② |
| | 8 | 本支店会計① |
| | 9 | 本支店会計② |
| | 10 | 連結会計① |
| | 11 | 連結会計② |
| | 12 | 連結会計③ |
| | 13 | 連結会計④ |
| | 14 | 連結会計⑤ |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 初等原価計算論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 工業簿記の基礎 2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系 3 材料費会計 4 労務費会計 5 経費会計 6 製造間接費会計 7 製造間接費差異の原因別分析 8 単純個別原価計算 9 工企業の財務諸表 10 確認テスト（第1回） 11 部門別計算① 12 部門別計算② 13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系 14 単純総合原価計算 15 工程別総合原価計算 16 組別総合原価計算 17 等級別総合原価計算 18 減損および仕損 19 標準原価計算① 20 標準原価計算② 21 標準原価計算③ 22 CVP分析① 23 CVP分析② 24 直接原価計算 25 工業簿記総まとめ① 26 工業簿記総まとめ② 27 工業簿記総まとめ③ 28 工業簿記総まとめ④ 29 工業簿記総まとめ⑤ 30 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 簿記 2級総合 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 90時間 |
| 授業コマ数 | 45コマ |
| 授業概要 | 商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ① 2 商業簿記総まとめ② 3 商業簿記総まとめ③ 4 商業簿記総まとめ④ 5 商業簿記総まとめ⑤ 6 商業簿記総まとめ⑥ 7 商業簿記総まとめ⑦ 8 商業簿記総まとめ⑧ 9 商業簿記総まとめ⑨ 10 商業簿記総まとめ⑩ 11 商業簿記総まとめ⑪ 12 商業簿記総まとめ⑫ 13 工業簿記・原価計算総まとめ① 14 工業簿記・原価計算総まとめ② 15 工業簿記・原価計算総まとめ③ 16 工業簿記・原価計算総まとめ④ 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤ 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥ 19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記） 20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記） 21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記） 22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記） 23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記） 24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記） 25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記） 26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記） 27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記） 28 商業簿記総合問題演習①（テスト形式） 29 工業簿記総合問題演習①（テスト形式） 30 商業簿記総合問題演習②（テスト形式） 31 工業簿記総合問題演習②（テスト形式） 32 商業簿記総合問題演習③（テスト形式） 33 工業簿記総合問題演習③（テスト形式） 34 商業簿記総合問題演習④（テスト形式） 35 工業簿記総合問題演習④（テスト形式） 36 商業簿記総合問題演習⑤（テスト形式） 37 工業簿記総合問題演習⑤（テスト形式） 38 商業簿記総合問題演習⑥（テスト形式） 39 工業簿記総合問題演習⑥（テスト形式） 40 直前模試① 41 直前模試② 42 直前模試③ 43 直前模試④ 44 直前模試⑤ 45 確認テスト |
| 成績評価方法 （試験実施方法） | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 簿記 簿記原理 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本①（意義、資本、発行） 4 株式会社の資本②（剰余金の配当） 5 商品売買①（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 6 商品売買②（返品、分記法） 7 商品売買③（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 8 決算①（決算） 9 決算②（決算整理） 10 決算③（繰越商品および仕入の決算整理） 11 決算④（決算整理後残高試算表） 12 決算⑤（精算表） 13 現金および預金①（現金、普通預金、当座預金） 14 現金および預金②（複数口座の管理、当座借越） 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 簿記通論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の財務諸表作成までの流れを学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 株式会社を前提とした企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 受取手形および売掛金の決算整理 2 有形固定資産 3 現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理 4 その他の債権および債務①（債権・債務、未収入金・未払金） 5 その他の債権および債務②（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 6 その他の債権および債務③（仮払金・仮受金、差入保証金） 7 その他の勘定および訂正仕訳 8 その他の収益および費用 9 費用および収益の決算整理 10 税金 11 消費税および法人税等の決算整理 12 訂正仕訳 13 財務諸表の作成①（損益計算書） 14 財務諸表の作成②（貸借対照表） 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 簿記 簿記概論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 財務諸表の作成③（貸借対照表①） 2 財務諸表の作成④（貸借対照表②） 3 手形および電子記録債権・債務 4 主要簿と補助簿 5 現金出納帳および当座預金出納帳 6 小口現金出納帳 7 仕入帳と売上帳 8 売掛金元帳と買掛金元帳 9 商品有高帳 10 手形記入帳 11 固定資産台帳 12 試算表の作成 13 伝票会計① 14 伝票会計② 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 商業簿記論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ① 2 商業簿記総まとめ② 3 商業簿記総まとめ③ 4 商業簿記総まとめ④ 5 商業簿記総まとめ⑤ 6 商業簿記総まとめ⑥ 7 商業簿記総まとめ⑦ 8 商業簿記総まとめ⑧ 9 商業簿記総まとめ⑨ 10 商業簿記総まとめ⑩ 11 商業簿記総まとめ⑪ 12 商業簿記総まとめ⑫ 13 商業簿記総まとめ⑬ 14 商業簿記総まとめ⑭ 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|--|
| 授業科目 | 簿記 3級総合 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | 90時間 | |
| 授業コマ数 | 45コマ | |
| 授業概要 | やや難しい会計処理を問題演習を通じて3級の範囲をマスターする | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①（応用編） 2 商業簿記総まとめ②（応用編） 3 商業簿記総まとめ③（応用編） 4 商業簿記総まとめ④（応用編） 5 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 6 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 7 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 8 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 9 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 10 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 11 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 12 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 13 商業簿記総まとめ⑬（応用編） 14 商業簿記総まとめ⑭（応用編） 15 商業簿記総まとめ⑮（応用編） 16 総合問題対策① 17 総合問題対策② 18 総合問題対策③ 19 総合問題対策④ 20 総合問題対策⑤ 21 総合問題対策⑥ 22 総合問題対策⑦ 23 総合問題対策⑧ 24 総合問題対策⑨ 25 総合問題対策⑩ | 26 総合問題対策⑪ 27 総合問題対策⑫ 28 総合問題対策⑬ 29 総合問題対策⑭ 30 総合問題対策⑮ 31 総合問題演習① 32 総合問題演習② 33 総合問題演習③ 34 総合問題演習④ 35 総合問題演習⑤ 36 総合問題演習⑥ 37 総合問題演習⑦ 38 総合問題演習⑧ 39 総合問題演習⑨ 40 総合問題演習⑩ 41 総合問題演習⑪ 42 総合問題演習⑫ 43 総合問題演習⑬ 44 総合問題演習⑭ 45 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|--|
| 授業科目 | 簿記 会計学Ⅲ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 120時間 | |
| 授業コマ数 | 60コマ | |
| 授業概要 | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、会計基準のみならず適用指針など実務に直結する基礎について学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 現行基準の理論体系の理解と、会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引① 7 リース取引② 8 固定資産の減損 9 研究開発費とソフトウェア 10 繰延資産 11 社債 12 引当金① 13 引当金② 14 退職給付① 15 退職給付② 16 資産除去債務 17 純資産 18 新株予約権と新株予約権付社債 19 ストック・オプション 20 税効果会計① 21 税効果会計② 22 外貨建取引① 23 外貨建取引② 24 商品売買等① 25 商品売買等② 26 商品売買等③ 27 工事契約 28 本支店会計① 29 本支店会計② 30 連結財務諸表総論 | 31 資本連結 32 成果連結 33 持分法 34 連結税効果会計 35 包括利益 36 在外子会社 37 企業結合 38 事業分離 39 C/F計算書① 40 C/F計算書② 41 連結C/F計算書① 42 連結C/F計算書② 43 連結C/F計算書③ 44 有価証券（基礎編） 45 有形固定資産（基礎編） 46 リース取引（基礎編） 47 固定資産の減損（基礎編） 48 退職給付（基礎編） 49 純資産（基礎編） 50 新株予約権と新株予約権付社債（基礎編） 51 ストック・オプション（基礎編） 52 税効果会計（基礎編） 53 外貨建取引（基礎編） 54 商品売買等（基礎編） 55 資本連結（基礎編） 56 連結税効果会計（基礎編） 57 在外子会社、事業分離（基礎編） 58 C/F計算書（基礎編） 59 連結C/F計算書（基礎編） 60 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---|
| 授業科目 | 簿記 高等工業会計論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 120時間 | |
| 授業コマ数 | 60コマ | |
| 授業概要 | 伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容と経営戦略の基本的な内容を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 工企業を前提とする会計処理と最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 工業簿記と原価計算 2 費目別計算① 3 費目別計算② 4 部門別計算① 5 部門別計算② 6 部門別計算③ 7 個別原価計算① 8 個別原価計算② 9 個別原価計算③ 10 総合原価計算① 11 総合原価計算② 12 総合原価計算③ 13 総合原価計算④ 14 標準原価計算① 15 標準原価計算② 16 標準原価計算③ 17 標準原価計算④ 18 標準原価計算⑤ 19 標準原価計算⑥ 20 直接原価計算 21 短期利益計画① 22 短期利益計画② 23 予算管理① 24 予算管理② 25 予算管理③ 26 意思決定会計① 27 意思決定会計② 28 意思決定会計③ 29 意思決定会計④ 30 意思決定会計⑤ | 31 意思決定会計⑥ 32 意思決定会計⑦ 33 意思決定会計⑧ 34 工業簿記と原価計算まとめ① 35 工業簿記と原価計算まとめ② 36 工業簿記と原価計算まとめ③ 37 工業簿記と原価計算まとめ④ 38 工業簿記と原価計算まとめ⑤ 39 工業簿記と原価計算まとめ⑥ 40 工業簿記と原価計算まとめ⑦ 41 工業簿記と原価計算まとめ⑧ 42 工業簿記と原価計算まとめ⑨ 43 工業簿記と原価計算まとめ⑩ 44 工業簿記と原価計算まとめ⑪ 45 工業簿記と原価計算まとめ⑫ 46 個別原価計算（基礎編） 47 部門別計算（基礎編） 48 総合原価計算（基礎編） 49 標準原価計算（基礎編） 50 直接原価計算（基礎編） 51 短期利益計画（基礎編） 52 予算管理（基礎編） 53 事業部制（基礎編） 54 業務的意思決定①（基礎編） 55 業務的意思決定②（基礎編） 56 構造的意決定①（基礎編） 57 構造的意決定②（基礎編） 58 構造的意決定③（基礎編） 59 戦略的原価計算（基礎編） 60 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 高等商業簿記論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記1級検定の会計知識および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引 2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計 3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション 4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳 5 売価還元原価法、転換社債 6 電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産 7 連結会計 8 キャッシュフロー計算書、企業結合 9 返品調整引当金、外貨建有価証券（減損）、ヘッジ会計 10 本支店会計総合問題（在外支店） 11 本支店会計総合問題（決算整理後合併残高試算表） 12 決算整理後残高試算表作成（会計上の変更） 13 決算整理後残高試算表作成（委託販売） 14 損益計算書作成（各種財務諸表金額算定） 15 損益計算書作成（財務諸表の注記に関する金額算定） 16 連結損益計算書 17 連結貸借対照表 18 会計上の変更 19 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題① 20 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題② 21 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③ 22 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④ 23 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤ 24 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥ 25 項目別問題対策①（テスト形式の問題解説） 26 項目別問題対策②（テスト形式の問題解説） 27 項目別問題対策③（テスト形式の問題解説） 28 項目別問題対策④（テスト形式の問題解説） 29 項目別問題対策⑤（テスト形式の問題解説） 30 確認テスト |
| 成績評価方法 （試験実施方法） | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|------------------------------------|
| 授業科目 | 簿記 高等原価計算論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | 原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 簿記1級検定の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 実際単純個別原価計算 |
| | 2 | 部門別計算 |
| | 3 | 部門別個別原価計算 |
| | 4 | 実際工程別総合原価計算① |
| | 5 | 実際工程別総合原価計算② |
| | 6 | 連産品原価の計算および追加加工の意思決定 |
| | 7 | 標準総合原価計算（仕損費の処理） |
| | 8 | 標準総合原価計算（配合差異・歩留差異） |
| | 9 | 標準総合原価計算（原価差異の追加配賦） |
| | 10 | 標準個別原価計算 |
| | 11 | 実際直接工程別総合原価計算 |
| | 12 | 実際直接部門別個別原価計算 |
| | 13 | CVP分析 |
| | 14 | 直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支） |
| | 15 | 直接標準総合原価計算（総合予算編成 資金調達） |
| | 16 | 予算統制（予算財務諸表作成） |
| | 17 | 直接標準原価計算（営業利益の差異分析） |
| | 18 | 事業部の業績測定 |
| | 19 | 業務的意思決定（原価分解、最適セールスマックス、新規注文の引受可否） |
| | 20 | 業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量） |
| | 21 | 構造的意思想定（各種評価方法、取換投資、拡張投資） |
| | 22 | 構造的意思想定（差額キャッシュフローの計算） |
| | 23 | 戦略的原価計算（損益・優劣分岐点、無限反復投資） |
| | 24 | 戦略的原価計算（原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算） |
| | 25 | 項目別問題対策①（テスト形式の問題解説） |
| | 26 | 項目別問題対策②（テスト形式の問題解説） |
| | 27 | 項目別問題対策③（テスト形式の問題解説） |
| | 28 | 項目別問題対策④（テスト形式の問題解説） |
| | 29 | 項目別問題対策⑤（テスト形式の問題解説） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 1級総合 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 2 工業簿記 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 3 商業簿記 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 4 工業簿記 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 5 商業簿記 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 6 工業簿記 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 7 商業簿記 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 8 工業簿記 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 9 商業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 10 工業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 11 商業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 12 工業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 13 商業簿記 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 14 工業簿記 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 15 商業簿記 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 16 工業簿記 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 17 商業簿記 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 18 工業簿記 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 19 商業簿記 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 20 工業簿記 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 21 商業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 22 工業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 23 商業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 24 工業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 25 直前模試①（テスト形式_直前模試） 26 直前模試②（テスト形式_直前模試） 27 直前模試③（テスト形式_直前模試） 28 直前模試④（テスト形式_直前模試） 29 直前模試⑤（テスト形式_直前模試） 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 簿記 会社会計論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 90時間 |
| 授業コマ数 | 45コマ |
| 授業概要 | 試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 商企業を前提とした記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 総論 2 簿記一巡の手続、財務諸表 3 現金預金、銀行勘定調整表 4 債権・債務 5 棚卸資産 6 有価証券①（有価証券の分類） 7 有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券） 8 有価証券③（子会社株式、関連会社株式） 9 有価証券④（その他有価証券、端数利息） 10 固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定） 11 固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費） 12 固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳） 13 固定資産④（有形固定資産の売却、買換え、除却、滅失） 14 固定資産⑤（リース会計、無形固定資産） 15 固定資産⑥（ソフトウェア、投資その他資産） 16 債務保証 17 引当金①（貸倒引当金） 18 引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理） 19 引当金③（その他の引当金） 20 収益と費用 21 為替換算会計①（外貨建取引） 22 為替換算会計②（為替予約） 23 株式会社の純資産①（意義、純資産） 24 株式会社の純資産②（株式の発行、剰余金の配当等） 25 株式会社の純資産③（株主資本の係数の変動） 26 企業結合 27 税金①（消費税） 28 税金②（法人税等） 29 税金③（税効果会計） 30 帳簿組織 31 伝票会計 32 決算①（決算整理、帳簿決算手続き） 33 決算②（財務諸表、精算表） 34 製造業を営む会社の決算処理 35 本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引） 36 本支店会計②（決算） 37 連結会計①（財務諸表） 38 連結会計②（支配獲得日の連結手続き） 39 連結会計③（支配獲得後の連結手続き） 40 連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去） 41 連結会計⑤（未実現利益の控除） 42 連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書） 43 連結会計⑦（連結第1年度、連結第2年度） 44 確認テスト（第1回） 45 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|----------------------------------|
| 授業科目 | 簿記 総合原価計算論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 90時間 | |
| 授業コマ数 | 45コマ | |
| 授業概要 | 工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 工業簿記の基礎 |
| | 2 | 工業簿記の記帳体系①（個別原価計算） |
| | 3 | 工業簿記の記帳体系②（決算） |
| | 4 | 材料費会計①（材料の購入、返品、消費、棚卸減耗） |
| | 5 | 材料費会計②（予定消費価格による材料費の計算と記帳） |
| | 6 | 労務費会計①（支払額の計算と記帳） |
| | 7 | 労務費会計②（消費額の計算と記帳） |
| | 8 | 労務費会計③（予定消費賃率による消費額の計算と記帳） |
| | 9 | 経費会計 |
| | 10 | 製造間接費会計①（実際配賦と予定配賦） |
| | 11 | 製造間接費会計②（差異の原因別分析） |
| | 12 | 単純個別原価計算①（単純個別原価計算） |
| | 13 | 単純個別原価計算②（仕損の処理） |
| | 14 | 部門別計算①（部門別計算の手続きと記帳体系） |
| | 15 | 部門別計算②（部門個別費と部門共通費） |
| | 16 | 部門別計算③（補助部門費の配賦①） |
| | 17 | 部門別計算④（補助部門費の配賦②） |
| | 18 | 部門別計算⑤（仕掛品の計算） |
| | 19 | 部門別計算⑥（差異の原因別分析） |
| | 20 | 工企業の財務諸表①（製造原価報告書） |
| | 21 | 工企業の財務諸表②（損益計算書、貸借対照表） |
| | 22 | 工業簿記の記帳体系（総合原価計算） |
| | 23 | 総合原価計算①（単純総合原価計算） |
| | 24 | 総合原価計算②（月末仕掛品原価の評価） |
| | 25 | 総合原価計算③（材料の投入形態） |
| | 26 | 総合原価計算④（損益計算書の作成） |
| | 27 | 総合原価計算⑤（減損の処理） |
| | 28 | 総合原価計算⑥（仕損の処理） |
| | 29 | 工程別総合原価計算①（月末仕掛品原価の計算） |
| | 30 | 工程別総合原価計算②（半製品の処理） |
| | 31 | 組別総合原価計算 |
| | 32 | 等級別総合原価計算①（完成品総合原価に等価係数を用いる方法） |
| | 33 | 等級別総合原価計算②（当月製造費用に等価係数を用いる方法） |
| | 34 | 標準原価計算①（月末仕掛品および完成品原価の計算） |
| | 35 | 標準原価計算②（原価差異の計算） |
| | 36 | 標準原価計算③（仕掛品勘定の記帳方法） |
| | 37 | 標準原価計算④（直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析） |
| | 38 | 標準原価計算⑤（製造間接費差異の原因別分析①） |
| | 39 | 標準原価計算⑥（製造間接費差異の原因別分析②） |
| | 40 | 原価・営業量・利益関係の分析 |
| | 41 | 直接原価計算①（直接原価計算） |
| | 42 | 直接原価計算②（固定費調整） |
| | 43 | 工場会計の独立 |
| | 44 | 確認テスト（第1回） |
| | 45 | 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法 （試験実施方法） | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 会計学Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 日々の取引、決算整理に関する一連の流れ、財務諸表の作成について、上場企業レベルの処理をすることができることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 現金預金 2 債権・債務、棚卸資産 3 有価証券 4 固定資産①（応用編①） 5 固定資産②（応用編②） 6 固定資産③（応用編③） 7 債務保証、引当金 8 収益と費用、為替換算会計 9 株式会社の純資産 10 企業結合、税金 11 決算 12 本支店会計 13 連結会計①（応用編①） 14 連結会計②（応用編②） 15 商業簿記総まとめ①（中級編） 16 商業簿記総まとめ②（中級編） 17 商業簿記総まとめ③（中級編） 18 商業簿記総まとめ④（中級編） 19 商業簿記総まとめ⑤（中級編） 20 商業簿記総まとめ⑥（中級編） 21 商業簿記総まとめ⑦（中級編） 22 商業簿記総まとめ⑧（中級編） 23 商業簿記総まとめ⑨（中級編） 24 商業簿記総まとめ⑩（中級編） 25 商業簿記総まとめ⑪（中級編） 26 商業簿記総まとめ⑫（中級編） 27 商業簿記総まとめ⑬（中級編） 28 商業簿記総まとめ⑭（中級編） 29 商業簿記総まとめ⑮（中級編） 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---------------------|
| 授業科目 | 簿記 初等工業会計論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期・後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | 工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 工業簿記の記帳体系 |
| | 2 | 材料費会計 |
| | 3 | 労務費会計 |
| | 4 | 経費会計、製造間接費会計 |
| | 5 | 単純個別原価計算 |
| | 6 | 部門別計算①（応用編①） |
| | 7 | 部門別計算②（応用編②） |
| | 8 | 工企業の財務諸表、総合原価計算 |
| | 9 | 工程別総合原価計算 |
| | 10 | 組別総合原価計算、等級別総合原価計算 |
| | 11 | 標準原価計算①（応用編①） |
| | 12 | 標準原価計算②（応用編②） |
| | 13 | 原価・営業量・利益関係の分析 |
| | 14 | 直接原価計算 |
| | 15 | 工業簿記・原価計算総まとめ①（中級編） |
| | 16 | 工業簿記・原価計算総まとめ②（中級編） |
| | 17 | 工業簿記・原価計算総まとめ③（中級編） |
| | 18 | 工業簿記・原価計算総まとめ④（中級編） |
| | 19 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（中級編） |
| | 20 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（中級編） |
| | 21 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（中級編） |
| | 22 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（中級編） |
| | 23 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（中級編） |
| | 24 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（中級編） |
| | 25 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（中級編） |
| | 26 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（中級編） |
| | 27 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑬（中級編） |
| | 28 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑭（中級編） |
| | 29 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑮（中級編） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 簿記 2級総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_中級編） 2 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_中級編） 3 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_中級編） 4 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_中級編） 5 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_中級編） 6 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_中級編） 7 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_中級編） 8 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_中級編） 9 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_中級編） 10 総合問題対策⑩（商業簿記と工業簿記_中級編） 11 総合問題演習①（テスト形式_中級編） 12 総合問題演習②（テスト形式_中級編） 13 総合問題演習③（テスト形式_中級編） 14 総合問題演習④（テスト形式_中級編） 15 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編） 16 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編） 17 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 18 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 19 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 20 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 21 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 22 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 23 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） 24 総合問題演習⑧（テスト形式_応用編） 25 総合問題演習①（テスト形式_直前模試） 26 総合問題演習②（テスト形式_直前模試） 27 総合問題演習③（テスト形式_直前模試） 28 総合問題演習④（テスト形式_直前模試） 29 総合問題演習⑤（テスト形式_直前模試） 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|---|
| 授業科目 | 秘書実務 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義・演習 | |
| 授業時間 | 120時間 | |
| 授業コマ数 | 60コマ | |
| 授業概要 | 働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識の理解。電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識の修得。問題演習と解説に加え、復習講義により高度な知識定着を図る。 | |
| 授業の進め方 | マナーに関する実践的な知識を学ぶ | |
| 達成目標 | 基本的な職場常識・職務の知識と技術を身に付ける | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 職場での心構え① 2 職場の心構え② 3 職場に必要な能力① 4 職場に必要な能力② 5 職場の役割と機能① 6 職場の役割と機能② 7 秘書の職務① 8 秘書の職務② 9 企業の基礎知識① 10 企業の基礎知識② 11 企業組織の活動① 12 企業組織の活動② 13 社会常識① 14 社会常識② 15 社会常識③ 16 人間関係と話し方・聞き方① 17 人間関係と話し方・聞き方② 18 人間関係と話し方・聞き方③ 19 人間関係と話し方・聞き方④ 20 敬語と接遇用語① 21 敬語と接遇用語② 22 敬語と接遇用語③ 23 敬語と接遇用語④ 24 電話応対① 25 電話応対② 26 電話応対③ 27 電話応対④ 28 来客応対① 29 来客応対② 30 来客応対③ | 31 交際業務① 32 交際業務② 33 ビジネス文書の作成① 34 ビジネス文書の作成② 35 ビジネス文書の作成③ 36 ビジネス文書の作成④ 37 文書・資料管理① 38 文書・資料管理② 39 文書・資料管理③ 40 日程管理① 41 日程管理② 42 日程管理③ 43 日程管理④ 44 環境整備① 45 環境整備② 46 社会人に必要な自覚と心構え、人柄 47 秘書に求められる能力 48 秘書の役割・機能、職務内容 49 一般知識 50 報告・説明の仕方 51 敬語の用法 52 電話応対① 53 電話応対② 54 来客応対① 55 来客応対② 56 社内文章・社外文章① 57 社内文章・社外文章② 58 メール・郵便・書類整理の知識 59 出張の注意点・オフィスの環境作り 60 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|------------------------------|-------------------|
| 授業科目 | オフィスExcel基礎 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次又は2年次 | |
| 開講学期 | 1年次：後期，2年次：前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義・実習 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する | |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る | |
| 達成目標 | MOS Excelレベルの操作を習得する | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | ワークシートやブックの作成と管理① |
| | 2 | ワークシートやブックの作成と管理② |
| | 3 | セルやセル範囲のデータの管理① |
| | 4 | セルやセル範囲のデータの管理② |
| | 5 | テーブルの作成① |
| | 6 | テーブルの作成② |
| | 7 | テーブルの作成③ |
| | 8 | 関数を使用してのデータ集計① |
| | 9 | 関数を使用してのデータ集計② |
| | 10 | 関数を使用してのデータ集計③ |
| | 11 | 関数を使用しての条件付き計算④ |
| | 12 | 関数を使用しての条件付き計算⑤ |
| | 13 | 関数を使用しての条件付き計算⑥ |
| | 14 | 関数を使用した文字列の整形や変更① |
| | 15 | 関数を使用した文字列の整形や変更② |
| | 16 | 関数を使用した文字列の整形や変更③ |
| | 17 | グラフの作成① |
| | 18 | グラフの作成② |
| | 19 | グラフの作成③ |
| | 20 | グラフの書式設定① |
| | 21 | グラフの書式設定② |
| | 22 | グラフの書式設定③ |
| | 23 | グラフの書式設定④ |
| | 24 | グラフの書式設定⑤ |
| | 25 | オブジェクトの挿入や書式設定① |
| | 26 | オブジェクトの挿入や書式設定② |
| | 27 | オブジェクトの挿入や書式設定③ |
| | 28 | オブジェクトの挿入や書式設定④ |
| | 29 | オブジェクトの挿入や書式設定⑤ |
| | 30 | 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|--|
| 授業科目 | 情報処理概論 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 120時間 | |
| 授業コマ数 | 60コマ | |
| 授業概要 | 情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 基礎理論① 2 基礎理論② 3 基礎理論③ 4 アルゴリズムとプログラミング① 5 アルゴリズムとプログラミング② 6 アルゴリズムとプログラミング③ 7 アルゴリズムとプログラミング④ 8 コンピュータ構成要素、システム構成要素① 9 コンピュータ構成要素、システム構成要素② 10 コンピュータ構成要素、システム構成要素③ 11 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース① 12 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース② 13 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース③ 14 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース④ 15 マルチメディア、データベース① 16 マルチメディア、データベース② 17 マルチメディア、データベース③ 18 マルチメディア、データベース④ 19 マルチメディア、データベース⑤ 20 マルチメディア、データベース⑥ 21 ネットワーク① 22 ネットワーク② 23 ネットワーク③ 24 ネットワーク④ 25 ネットワーク⑤ 26 ネットワーク⑥ 27 セキュリティ① 28 セキュリティ② 29 セキュリティ③ 30 セキュリティ④ | 31 セキュリティ⑤ 32 企業活動① 33 企業活動② 34 企業活動③ 35 法務① 36 法務② 37 法務③ 38 経営戦略マネジメント① 39 経営戦略マネジメント② 40 経営戦略マネジメント③ 41 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ① 42 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ② 43 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ③ 44 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ④ 45 システム戦略、システム企画① 46 システム戦略、システム企画② 47 システム戦略、システム企画③ 48 システム戦略、システム企画④ 49 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術① 50 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術② 51 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術③ 52 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術④ 53 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント① 54 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント② 55 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント③ 56 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント④ 57 システム監査① 58 システム監査② 59 システム監査③ 60 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---|
| 授業科目 | オフィスソフト実習 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次又は2年次 | |
| 開講学期 | 1年次：前期，2年次：前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義・実習 | |
| 授業時間 | 90時間 | |
| 授業コマ数 | 45コマ | |
| 授業概要 | PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎と応用操作を理解する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と演習により、知識と技術の定着を図る | |
| 達成目標 | テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ | 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④ 31 表の挿入、設定 32 グラフの挿入、書式設定① 33 グラフの挿入、書式設定② 34 SmartArtの挿入、書式設定① 35 SmartArtの挿入、書式設定② 36 メディアの挿入、管理① 37 メディアの挿入、管理② 38 画面切り替えの設定① 39 画面切り替えの設定② 40 アニメーションの設定① 41 アニメーションの設定② 42 複数のコンテンツの結合① 43 複数のコンテンツの結合② 44 プレゼンテーションの保護、共有 45 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|-----------------------------------|---------------------|
| 授業科目 | オフィスWord基礎 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義・実習 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 文章の作成① |
| | 2 | 文章の作成② |
| | 3 | 文章内の移動① |
| | 4 | 文章内の移動② |
| | 5 | 文章の書式設定① |
| | 6 | 文章の書式設定② |
| | 7 | 文章の書式設定③ |
| | 8 | 文章の書式設定④ |
| | 9 | オプションの設定、表示のカスタマイズ① |
| | 11 | オプションの設定、表示のカスタマイズ② |
| | 12 | オプションの設定、表示のカスタマイズ③ |
| | 13 | 文章の印刷、保存① |
| | 14 | 文章の印刷、保存② |
| | 15 | 文章の印刷、保存③ |
| | 16 | 文章の印刷、保存④ |
| | 17 | 文字列・段落の挿入① |
| | 18 | 文字列・段落の挿入② |
| | 19 | 文字列・段落の挿入③ |
| | 20 | 文字列・段落の挿入④ |
| | 21 | 文字列・段落の書式設定① |
| | 22 | 文字列・段落の書式設定② |
| | 23 | 文字列・段落の書式設定③ |
| | 24 | 文字列・段落の書式設定④ |
| | 25 | 文字列・段落の書式設定⑤ |
| | 26 | 文字列・段落の並び替え、グループ化① |
| | 27 | 文字列・段落の並び替え、グループ化② |
| | 28 | 文字列・段落の並び替え、グループ化③ |
| | 29 | 文字列・段落の並び替え、グループ化④ |
| | 30 | 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | オフィスWord活用 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る |
| 達成目標 | MOS Wordレベルの操作を習得する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定 15 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | コンピュータ会計実習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 簡単な実務の会計処理の学習と、会計ソフトへの入力及び各種機能の学習を行う |
| 授業の進め方 | 講義と実習により、実務スキルを身に付ける |
| 達成目標 | 簡単な実務の会計処理と、会計ソフトによる入力スキルを身に付ける |
| 教科書 | テキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 証憑書類からの会計処理① 2 証憑書類からの会計処理② 3 証憑書類からの会計処理③ 4 証憑書類からの会計処理④ 5 証憑書類からの会計処理⑤ 6 証憑書類からの会計処理⑥ 7 証憑書類からの会計処理⑦ 8 証憑書類からの会計処理⑧ 9 証憑書類からの会計処理⑨ 10 証憑書類からの会計処理⑩ 11 期中取引入力① 12 期中取引入力② 13 期中取引入力③ 14 決算処理① 15 決算処理② 16 決算処理③ 17 決算処理④ 18 決算処理⑤ 19 決算処理入力① 20 決算処理入力② 21 決算処理入力③ 22 決算処理入力④ 23 決算処理入力⑥ 24 修正処理の入力① 25 修正処理の入力② 26 修正処理の入力③ 27 財務諸表作成 28 総合演習① 29 総合演習② 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | ネットワーク概論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | ネットショップ事務の共通知識、制作・運用に必要な知識を理解する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | eコマース業界における全体像の基本的な知識を身に付ける |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ビジネスショップのビジネス環境① 2 ビジネスショップのビジネス環境② 3 ビジネスショップのビジネス環境③ 4 ビジネスショップのビジネス環境④ 5 ビジネスショップのビジネス環境⑤ 6 小売業の分類と特徴① 7 小売業の分類と特徴② 8 小売業の分類と特徴③ 9 小売業の分類と特徴④ 10 小売業の分類と特徴⑤ 11 ネットショップの位置づけ① 12 ネットショップの位置づけ② 13 ネットショップの位置づけ③ 14 ネットショップの位置づけ④ 15 ネットショップの位置づけ⑤ 16 ネットショップの動向① 17 ネットショップの動向② 18 ネットショップの動向③ 19 ネットショップの動向④ 20 ネットショップの動向⑤ 21 ネットショップの出店形態と特徴① 22 ネットショップの出店形態と特徴② 23 ネットショップの出店形態と特徴③ 24 ネットショップの出店形態と特徴④ 25 ネットショップの出店形態と特徴⑤ 26 ネットショップ事務の共通知識① 27 ネットショップ事務の共通知識② 28 ネットショップ事務の共通知識③ 29 ネットショップ事務の共通知識④ 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---|
| 授業科目 | 販売・経営 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 120時間 | |
| 授業コマ数 | 60コマ | |
| 授業概要 | 小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する | |
| 授業の進め方 | 小売に関する実践的な知識を学ぶ | |
| 達成目標 | リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 商業集積① 2 商業集積② 3 商業集積③ 4 小売業のマーケティング① 5 小売業のマーケティング② 6 小売業のマーケティング③ 7 小売業のマーケティング④ 8 小売業のマーケティング⑤ 9 小売業のマーケティング⑥ 10 顧客満足経営① 11 顧客満足経営② 12 顧客満足経営③ 13 顧客満足経営④ 14 顧客満足経営⑤ 15 顧客満足経営⑥ 16 証券の設定と出店① 17 証券の設定と出店② 18 証券の設定と出店③ 19 リージョナルプロモーション① 20 リージョナルプロモーション② 21 リージョナルプロモーション③ 22 顧客志向型売り場づくり① 23 顧客志向型売り場づくり② 24 顧客志向型売り場づくり③ 25 ストアオペレーション① 26 ストアオペレーション② 27 ストアオペレーション③ 28 ストアオペレーション④ 29 ストアオペレーション⑤ 30 ストアオペレーション⑥ | 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディ스플레이① 20 ディ스플레이② 21 ディ스플레이③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥ 46 商品計画① 47 商品計画② 48 商品計画③ 49 販売計画及び仕入れ計画① 50 販売計画及び仕入れ計画② 51 販売計画及び仕入れ計画③ 52 価格設定① 53 価格設定② 54 価格設定③ 55 在庫管理① 56 在庫管理② 57 在庫管理③ 58 販売管理① 59 販売管理② 60 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|--|
| 授業科目 | 販売常識・販売技術 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 1年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | 仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する | |
| 授業の進め方 | 小売に関する実践的な知識を学ぶ | |
| 達成目標 | モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ | 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 組織形態別小売業④ 26 店舗形態別小売業① 27 店舗形態別小売業② 28 店舗形態別小売業③ 29 店舗形態別小売業④ 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ネットワーク演習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義・演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | ネットショップ検定（レベル1） |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | ネットビジネスの環境を理解し、実践できる知識を身につける |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットショップ事業の準備① 2 ネットショップ事業の準備② 3 ネットショップ事業の準備③ 4 ネットショップの製作① 5 ネットショップの製作② 6 ネットショップの製作③ 7 ネットショップの製作④ 8 ネットショップのプロモーション① 9 ネットショップのプロモーション② 10 ネットショップのプロモーション③ 11 ネットショップのプロモーション④ 12 ネットショップの運用① 13 ネットショップの運用② 14 ネットショップの運用③ 15 ネットショップの運用④ 16 社会人としての基礎知識① 17 社会人としての基礎知識② 18 社会人としての基礎知識③ 19 社会人としての基礎知識④ 20 問題演習① 21 問題演習② 22 問題演習③ 23 問題演習④ 24 総合演習① 25 総合演習② 26 総合演習③ 27 総合演習④ 28 検定対策① 29 検定対策② 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 総合演習X I（官庁・企業研究） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 就職活動に向け、敬語、筆記試験、業界研究の仕方を学ぶ |
| 授業の進め方 | 演習により、知識の定着と業界の把握をする |
| 達成目標 | 内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 社会人に適したスーツの着こなし 2 社会人に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 就職活動で良く聞かれる質疑応答① 5 就職活動で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 業界研究① 13 業界研究② 14 業界研究③ 15 業界研究④ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 総合演習ⅩⅡ（時事研究） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 職種研究と職種に関連する時事の研究方法について学ぶ |
| 授業の進め方 | 問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 内定へ向けた志望理由を作れるようになる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 職種研究① 7 職種研究② 8 職種研究③ 9 職種研究④ 10 職種研究⑤ 11 職種に関する時事研究① 12 職種に関する時事研究② 13 職種に関する時事研究③ 14 職種に関する時事研究④ 15 職種に関する時事研究⑤ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 一般教養 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方① 11 漢字の意味・使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験② |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 直前模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 総合演習Ⅲ（計算技能） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 電卓技能の向上を目的とする。 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 電卓演習① 2 電卓演習② 3 電卓演習③ 4 電卓演習④ 5 電卓演習⑤ 6 電卓演習⑥ 7 電卓演習⑦ 8 電卓演習⑧ 9 電卓演習⑨ 10 電卓演習⑩ 11 電卓演習⑪ 12 電卓演習⑫ 13 電卓演習⑬ 14 電卓演習⑭ 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 経理実務 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義・演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務① 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務② 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③ 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）① 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）② 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③ 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）① 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）② 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|--|
| 授業科目 | 経理実務実習 | |
| 実務家教員 | ○ | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義・演習 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 所得税の基礎知識④ 5 所得税の基礎知識⑤ 6 所得税の基礎知識⑥ 7 年末調整のしかた① 8 年末調整のしかた② 9 年末調整のしかた③ 10 年末調整のしかた④ 11 年末調整のしかた⑤ 12 年末調整のしかた⑥ 13 法定調書の流れ① 14 法定調書の流れ② 15 法定調書の流れ③ | 16 法定調書の流れ④ 17 法定調書の流れ⑤ 18 法定調書の流れ⑥ 19 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 20 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 21 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 22 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出④ 23 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑤ 24 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥ 25 労働保険の概要及び会計処理① 26 労働保険の概要及び会計処理② 27 労働保険の概要及び会計処理③ 28 労働保険の概要及び会計処理④ 29 労働保険の概要及び会計処理⑤ 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | マーケティング概論 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | マーケティングの必要性と目的を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | マーケティングの知識を体系的に習得する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | マーケティング研究 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 事例研究を通じてマーケティングを演習する |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る |
| 達成目標 | マーケティングの具体的な手法を理解する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|---|
| 授業科目 | マーケティング実習 | |
| 実務家教員 | ○ | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | 180時間 | |
| 授業コマ数 | 90コマ | |
| 授業概要 | 実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する | |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る | |
| 達成目標 | マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 業界分析① 2 業界分析② 3 業界分析③ 4 業界分析④ 5 情報収集① 6 情報収集② 7 情報収集③ 8 情報収集④ 9 情報収集⑤ 10 情報収集⑥ 11 情報収集⑦ 12 情報収集⑧ 13 店舗分析① 14 店舗分析② 15 店舗分析③ 16 店舗分析④ 17 店舗分析⑤ 18 店舗分析⑥ 19 店舗分析⑦ 20 店舗分析⑧ 21 店舗見学① 22 店舗見学② 23 店舗見学③ 24 店舗見学④ 25 店舗見学⑤ 26 店舗見学⑥ 27 店舗見学⑦ 28 店舗見学⑧ 29 課題抽出① 30 課題抽出② 31 課題抽出③ 32 課題抽出④ 33 課題抽出⑤ 34 課題抽出⑥ 35 課題抽出⑦ 36 課題抽出⑧ 37 仮説① 38 仮説② 39 仮説③ 40 仮説④ 41 仮説⑤ 42 仮説⑥ 43 仮説⑦ 44 仮説⑧ 45 調査・検証① | 46 調査・検証② 47 調査・検証③ 48 調査・検証④ 49 調査・検証⑤ 50 調査・検証⑥ 51 調査・検証⑦ 52 調査・検証⑧ 53 調査・検証⑨ 54 調査・検証⑩ 55 企画案作成① 56 企画案作成② 57 企画案作成③ 58 企画案作成④ 59 企画案作成⑤ 60 企画案作成⑥ 61 企画案作成⑦ 62 企画案作成⑧ 63 企画案作成⑨ 64 企画案作成⑩ 65 中間発表① 66 中間発表② 67 中間発表③ 68 中間発表④ 69 中間発表⑤ 70 再検証① 71 再検証② 72 再検証③ 73 再検証④ 74 再検証⑤ 75 再検証⑥ 76 再検証⑦ 77 再検証⑧ 78 再検証⑨ 79 再検証⑩ 80 最終発表① 81 最終発表② 82 最終発表③ 83 最終発表④ 84 最終発表⑤ 85 代表によるコンテストの実施① 86 代表によるコンテストの実施② 87 代表によるコンテストの実施③ 88 代表によるコンテストの実施④ 89 代表によるコンテストの実施⑤ 90 代表によるコンテストの実施⑥ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | | |
|--------------------|---|--|---|
| 授業科目 | 実務会計実習 | | |
| 実務家教員 | | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | | |
| 履修年次 | 2年次 | | |
| 開講学期 | 前期 | | |
| 科目区分 | 選択 | | |
| 授業方法 | 講義 | | |
| 授業時間 | 150時間 | | |
| 授業コマ数 | 75コマ | | |
| 授業概要 | 財務諸表を理解し、会計の構造を学習する | | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | | |
| 達成目標 | 会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける | | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | | |
| 特記 | | | |
| 授業計画 | 1 売掛債権管理① 2 売掛債権管理② 3 売掛債権管理③ 4 売掛債権管理④ 5 買掛債務管理① 6 買掛債務管理② 7 買掛債務管理③ 8 買掛債務管理④ 9 在庫管理① 10 在庫管理② 11 在庫管理③ 12 在庫管理④ 13 固定資産① 14 固定資産② 15 固定資産③ 16 固定資産④ 17 ソフトウェア管理① 18 ソフトウェア管理② 19 ソフトウェア管理③ 20 ソフトウェア管理④ 21 原価管理① 22 原価管理② 23 原価管理③ 24 原価管理④ 25 経費管理① | 26 経費管理② 27 経費管理③ 28 経費管理④ 29 月次業務管理① 30 月次業務管理② 31 月次業務管理③ 32 月次業務管理④ 33 税効果計算業務① 34 税効果計算業務② 35 税効果計算業務③ 36 税効果計算業務④ 37 税効果計算業務⑤ 38 税効果計算業務⑥ 39 税効果計算業務⑦ 40 消費税申告業務① 41 消費税申告業務② 42 消費税申告業務③ 43 消費税申告業務④ 44 消費税申告業務⑤ 45 消費税申告業務⑥ 46 消費税申告業務⑦ 47 法人税申告業務① 48 法人税申告業務② 49 法人税申告業務③ 50 法人税申告業務④ | 51 法人税申告業務⑤ 52 法人税申告業務⑥ 53 法人税申告業務⑦ 54 税務調査対応① 55 税務調査対応② 56 税務調査対応③ 57 税務調査対応④ 58 税務調査対応⑤ 59 税務調査対応⑥ 60 税務調査対応⑦ 61 現金出納帳管理 62 手形・小切手管理 63 有価証券管理 64 財務保証管理 65 貸付金業務 66 借入金業務 67 社債管理 68 デリバティブ取引管理 69 外貨建取引管理 70 資金管理 71 単年決算業務 72 連結決算管理 73 中長期軽々管理 74 年次予算管理① 75 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | | |
| 備考 | | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 総合演習X I（官庁・企業研究） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義・演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 働くとは 2 業界研究 3 企業研究① 4 企業研究② 5 企業研究③ 6 企業研究① 7 企業研究② 8 志望動機の作り方① 9 志望動機の作り方② 10 志望動機の作り方③ 11 志望動機の作り方④ 12 志望動機の作り方⑤ 13 書類送付方法 14 ビジネス電話 15 ビジネスメール |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 総合演習XII（時事研究） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習 |
| 授業の進め方 | 項目ごとの演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表② |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | キャリア教育 I |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 内定に向けた面接試験の基礎である自己PRを作成する |
| 授業の進め方 | 講義及び教員との面談により自己分析を行い自身の強みと弱みの発見し表現する |
| 達成目標 | 内定に向けた面接試験の基礎である自己PRを作成する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 面接試験の意味 2 教員面談 3 セールスポイントの洗い出し① 4 セールスポイントの洗い出し② 5 セールスポイントの洗い出し③ 6 セールスポイントの作成① 7 セールスポイントの作成② 8 セールスポイントの作成③ 9 短所の洗い出し① 10 短所の洗い出し② 11 短所の洗い出し③ 12 短所の改善方法① 13 短所の改善方法② 14 短所の改善方法③ 15 面接形式における実践 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、自己分析レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | キャリア教育Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 内定に向け、面接試験の一連の流れを実践する |
| 授業の進め方 | 講義及び教員との面談により自己分析を行い自身の強みと弱みの発見し表現する |
| 達成目標 | 面接試験の一連の流れをスムーズにできるようにする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 身だしなみの確認 2 敬語の使い方 3 入室、着席、退室の仕方 4 質問対応のポイント① 5 質問対応のポイント② 6 質問対応のポイント③ 7 質問対応のポイント④ 8 質問対応のポイント⑤ 9 面接練習① 10 面接練習② 11 面接練習③ 12 面接練習④ 13 面接練習⑤ 14 面接練習⑥ 15 面接形式における実践 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、面接動作の完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | キャリア教育Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 内定先の業務理解度を高め、必要なスキルの向上を図る |
| 授業の進め方 | 講義及び教員との面談により自己分析を行い自身の強みと弱みの発見し表現する |
| 達成目標 | 理解度向上のためのレポートの作成による報告書作成スキルの向上とその他業務スキル向上の学習の実施 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 レポートの作り方 2 内定企業レポートの作成① 3 内定企業レポートの作成② 4 内定企業レポートの作成③ 5 内定企業レポートの作成④ 6 内定企業レポートの作成⑤ 7 内定企業レポートの作成⑥ 8 内定企業レポートの作成⑦ 9 内定企業レポートの作成⑧ 10 業務スキル向上練習① 11 業務スキル向上練習② 12 業務スキル向上練習③ 13 業務スキル向上練習④ 14 業務スキル向上練習⑤ 15 業務スキル向上練習⑥ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、内定企業レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 総合演習XIII（特別活動） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年生） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | グループワークの形式、役割、手法について学ぶ |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける |
| 教科書 | 配布プリント・資料 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型② |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 販売事務管理 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義 |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | マナー接遇基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義・演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト・レジュメ |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話応対① 26 電話応対② 27 電話応対③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|---|
| 授業科目 | パソコン実習 I | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | Wordを操作するための基礎的な知識を身につける実習 | |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る | |
| 達成目標 | 基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 文章の作成と管理④ 5 文章の作成と管理⑤ 6 文章の作成と管理⑥ 7 文章の作成と管理⑦ 8 文章の作成と管理⑧ 9 文章の作成と管理⑨ 10 文章の作成と管理⑩ 11 一般的なビジネス文書の作成① 12 一般的なビジネス文書の作成② 13 一般的なビジネス文書の作成③ 14 一般的なビジネス文書の作成④ 15 一般的なビジネス文書の作成⑤ | 16 一般的なビジネス文書の作成⑥ 17 一般的なビジネス文書の作成⑦ 18 一般的なビジネス文書の作成⑧ 19 一般的なビジネス文書の作成⑨ 20 一般的なビジネス文書の作成⑩ 21 シンプルなレポートや報告書の作成① 22 シンプルなレポートや報告書の作成② 23 シンプルなレポートや報告書の作成③ 24 シンプルなレポートや報告書の作成④ 25 シンプルなレポートや報告書の作成⑤ 26 シンプルなレポートや報告書の作成⑥ 27 シンプルなレポートや報告書の作成⑦ 28 シンプルなレポートや報告書の作成⑧ 29 シンプルなレポートや報告書の作成⑨ 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|--|
| 授業科目 | パソコン実習Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習 | |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る | |
| 達成目標 | タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 表作成の基本操作① 2 表作成の基本操作② 3 表作成の基本操作③ 4 表作成の基本操作④ 5 表作成の基本操作⑤ 6 表作成の基本操作⑥ 7 見やすく使いやすい表にする編集操作① 8 見やすく使いやすい表にする編集操作② 9 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 11 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 12 表、画像、図形を使った文書の作成① 13 表、画像、図形を使った文書の作成② 14 表、画像、図形を使った文書の作成③ 15 表、画像、図形を使った文書の作成④ | 16 表、画像、図形を使った文書の作成⑤ 17 表、画像、図形を使った文書の作成⑥ 18 数式・関数を活用した集計表の作成① 19 数式・関数を活用した集計表の作成② 20 数式・関数を活用した集計表の作成③ 21 数式・関数を活用した集計表の作成④ 22 ワークシート間の集計① 23 ワークシート間の集計② 24 ワークシート間の集計③ 25 グラフの基本① 26 グラフの基本② 27 グラフの基本③ 28 目的に応じたグラフの作成と編集① 29 目的に応じたグラフの作成と編集② 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | パソコン実習応用 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化① 14 マクロによる作業の自動化② 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | プレゼンテーション実習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 時事研究から発表までの一連の流れ |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習 |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 15 発表 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | 税務会計実務 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 税務の知識と技術を身につけ、税務の意義や制度についての理解を深めるための講義 |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 税務の意義や制度を深く理解し、申告書の作成及び税務情報を提供・活用できる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 消費税法① 2 消費税法② 3 消費税法③ 4 消費税法④ 5 消費税法⑤ 6 法人税法① 7 法人税法② 8 法人税法③ 9 法人税法④ 10 法人税法⑤ 11 法人住民税① 12 法人住民税② 13 法人事業税① 14 法人事業税② 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|--|
| 授業科目 | ビジネスマナー | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | 90時間 | |
| 授業コマ数 | 45コマ | |
| 授業概要 | ビジネス電話対応、接遇、オフィス内での振舞等、1日のオフィスワークを想定した柔軟な対応スキルを向上させる | |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る | |
| 達成目標 | 電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 敬語の使い方① 2 敬語の使い方② 3 敬語の使い方③ 4 敬語の使い方④ 5 敬語の使い方⑤ 6 電話対応の復習① 7 電話対応の復習② 8 電話対応の復習③ 9 電話対応の復習④ 10 電話対応の復習⑤ 11 伝言復唱練習① 12 伝言復唱練習② 13 伝言復唱練習③ 14 伝言復唱練習④ 15 伝言復唱練習⑤ 16 電話における道案内① 17 電話における道案内② 18 電話における道案内③ 19 電話における道案内④ 20 電話における道案内⑤ 21 電話応対実践練習① 22 電話応対実践練習② 23 電話応対実践練習③ 24 電話応対実践練習④ 25 電話応対実践練習⑤ | 26 電話応対実践練習⑥ 27 電話応対実践練習⑦ 28 電話応対実践練習⑧ 29 電話応対実践練習⑨ 30 電話応対実践練習⑩ 31 オフィスワーク実践練習① 32 オフィスワーク実践練習② 33 オフィスワーク実践練習③ 34 オフィスワーク実践練習④ 35 オフィスワーク実践練習⑤ 36 オフィスワーク実践練習⑥ 37 オフィスワーク実践練習⑦ 38 オフィスワーク実践練習⑧ 39 オフィスワーク実践練習⑨ 40 オフィスワーク実践練習⑩ 41 校内コンテスト① 42 校内コンテスト② 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | マナー接遇応用 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | 応対に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」 |
| 達成目標 | 応対に関する実践的な演習を通じて、習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト・レジュメ |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 接遇・接客マナーとは① 2 接遇・接客マナーとは② 3 接遇・接客マナーとは③ 4 接遇・接客の心得① 5 接遇・接客の心得② 6 接遇・接客の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 受付・店内接客の基本① 11 受付・店内接客の基本② 12 受付・店内接客の基本③ 13 受付・店内接客の演習① 14 受付・店内接客の演習② 15 受付・店内接客の演習③ |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---|
| 授業科目 | 財務分析 | |
| 実務家教員 | ○ | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | 60時間 | |
| 授業コマ数 | 30コマ | |
| 授業概要 | 財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義 | |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る | |
| 達成目標 | 財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 外貨建会計⑤ 6 リース取引① 7 リース取引② 8 リース取引③ 9 リース取引④ 10 リース取引⑤ 11 キャッシュ・フロー計算書① 12 キャッシュ・フロー計算書② 13 キャッシュ・フロー計算書③ 14 キャッシュ・フロー計算書④ 15 キャッシュ・フロー計算書⑤ | 16 キャッシュ・フロー計算書⑥ 17 キャッシュ・フロー計算書⑦ 18 税効果会計① 19 税効果会計② 20 税効果会計③ 21 税効果会計④ 22 税効果会計⑤ 23 税効果会計⑥ 24 税効果会計⑦ 25 退職給付会計① 26 退職給付会計② 27 退職給付会計③ 28 退職給付会計④ 29 退職給付会計⑤ 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | 財務会計ソフト実習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 30時間 |
| 授業コマ数 | 15コマ |
| 授業概要 | 会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 振替伝票の入力操作 2 入出金伝票の入力操作 3 仕訳帳の入力操作 4 売掛帳・買掛帳の入力操作 5 現金出納帳・預金出納帳の入力操作 6 勘定科目の追加登録 7 付箋機能 8 決算手続きの操作① 9 決算手続きの操作② 10 決算手続きの操作③ 11 決算書の作成① 12 決算書の作成② 13 決算書の作成③ 14 翌期の繰り越し処理 15 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ビジネスアプリケーション実習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義・実習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | Excelの操作に関する実践的な知識を身に付ける学習 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | Excelの実践的な関数、マクロ・VBAの基礎知識を身に付ける |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 関数を使用してのデータ検索① 2 関数を使用してのデータ検索② 3 日付と時刻の関数を適用 4 マクロとVBA① 5 マクロとVBA② 6 マクロとVBA③ 7 マクロの基本操作① 8 マクロの基本操作② 9 マクロの基本操作③ 10 マクロ記録の活用① 11 マクロ記録の活用② 12 マクロ記録の活用③ 13 オブジェクト操作① 14 オブジェクト操作② 15 オブジェクト操作③ 16 セル操作① 17 セル操作② 18 セル操作③ 19 VBAの基本構文① 20 VBAの基本構文② 21 VBAの基本構文③ 22 VBAの基本構文④ 23 VBAの基本構文⑤ 24 VBA関数① 25 VBA関数② 26 VBA関数③ 27 VBA関数④ 28 VBA関数⑤ 29 VBA関数⑥ 30 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|---|---|
| 授業科目 | オフィスソフト実習 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義・実習 | |
| 授業時間 | 90時間 | |
| 授業コマ数 | 45コマ | |
| 授業概要 | PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎と応用操作を理解する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と演習により、知識と技術の定着を図る | |
| 達成目標 | テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ | 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④ 31 表の挿入、設定 32 グラフの挿入、書式設定① 33 グラフの挿入、書式設定② 34 SmartArtの挿入、書式設定① 35 SmartArtの挿入、書式設定② 36 メディアの挿入、管理① 37 メディアの挿入、管理② 38 画面切り替えの設定① 39 画面切り替えの設定② 40 アニメーションの設定① 41 アニメーションの設定② 42 複数のコンテンツの結合① 43 複数のコンテンツの結合② 44 プレゼンテーションの保護、共有 45 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|---|
| 授業科目 | ネットワーク演習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 講義・演習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | ネットショップ検定（レベル1） |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | ネットビジネスの環境を理解し、実践できる知識を身につける |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ネットショップ事業の準備① 2 ネットショップ事業の準備② 3 ネットショップ事業の準備③ 4 ネットショップの製作① 5 ネットショップの製作② 6 ネットショップの製作③ 7 ネットショップの製作④ 8 ネットショップのプロモーション① 9 ネットショップのプロモーション② 10 ネットショップのプロモーション③ 11 ネットショップのプロモーション④ 12 ネットショップの運用① 13 ネットショップの運用② 14 ネットショップの運用③ 15 ネットショップの運用④ 16 社会人としての基礎知識① 17 社会人としての基礎知識② 18 社会人としての基礎知識③ 19 社会人としての基礎知識④ 20 問題演習① 21 問題演習② 22 問題演習③ 23 問題演習④ 24 総合演習① 25 総合演習② 26 総合演習③ 27 総合演習④ 28 検定対策① 29 検定対策② 30 確認テスト |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|--------------------|--|
| 授業科目 | オフィスExcel基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） |
| 履修年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | 60時間 |
| 授業コマ数 | 30コマ |
| 授業概要 | Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | MOS Excelレベルの操作を習得する |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算④ 12 関数を使用しての条件付き計算⑤ 13 関数を使用しての条件付き計算⑥ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 |
| 備考 | |

授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|--------------------|--|-------------------|
| 授業科目 | オフィスExcel活用 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 経理本科（2年制） | |
| 履修年次 | 2年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | 30時間 | |
| 授業コマ数 | | |
| 授業概要 | MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習 | |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る | |
| 達成目標 | Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | ワークシートやブックの作成と管理 |
| | 2 | セルやセル範囲のデータの管理 |
| | 3 | テーブルの作成 |
| | 4 | テーブルの作成 |
| | 5 | 関数を使用してのデータ集計① |
| | 6 | 関数を使用してのデータ集計② |
| | 7 | 関数を使用しての条件付き計算① |
| | 8 | 関数を使用しての条件付き計算② |
| | 9 | 関数を使用しての条件付き計算③ |
| | 10 | 関数を使用した文字列の整形や変更① |
| | 11 | 関数を使用した文字列の整形や変更② |
| | 12 | グラフの作成 |
| | 13 | グラフの書式設定 |
| | 14 | オブジェクトの挿入や書式設定 |
| | 15 | 効果測定 |
| 成績評価方法 (試験実施方法) | 効果測定100% 実技による効果測定 | |
| 備考 | | |